

This and That at MISHOP

MISHOP News from all activities.

みんなの活動だより

発行: MISHOP 広報部

2022.11

75

三鷹国際交流フェスティバル 3年ぶりに開催

去る9月25日(日)、第31回三鷹国際交流フェスティバル(公益財団法人三鷹国際交流協会主催、三鷹青年会議所共催、三鷹市後援)が、都立井の頭恩賜公園西園全体を使って3年ぶりに開催されました。前日の豪雨で開催できるか心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、約4万6000人の来場者にぎわいました。

今回は「密」を避けるため、西園の競技場、文化交流広場、野球場周辺、これまでより広い場所を会場として使用し、世界各国の物品を販売するワールドバザール、ピンゴラリーなどのキッズゾーン、地域で活動する団体のコミュニティゾーン、ステージなどが設けられました。中でもキッチンカーを含む飲食25店の出店を競技場内の食品販売エリアに限定し、場内の半分を使って1440人分の椅子とテーブルを置いた飲食エリアが設けられましたが、店にも飲食エリアにも長い行列ができるほどの人気でした。実行委員長の入月裕樹さんは「3年前の記憶を取り戻すために過去やってきたことをできるだけ取り入れました。特に飲食の模擬店を出すために飲食できるスペースを確保しました。天気に恵まれ、大勢の方にお越しいただいて良かったです」と話していました。(写真は裏面に)

The Mitaka International Festival—MISHOP World—held on September 25th for the first time in three years at the Inokashira West Park, was bustling with 46,000 visitors. In addition to the World Bazaar, Kids Zone, Community Zone, Stage, and more, 25 restaurants congregated within the stadium, creating a dining area for 1440 people. There were long queues at both the stores and dining area.

親子で楽しんだスティールパン

8月27日(土)に、三鷹駅前コミュニティ・センターで、子ども世界の文化体験会「親子で楽しもう!スティールパン」が開催されました。

「スティールパン」は、中南米、カリブ海の島、トリニダード・トバゴ共和国で生まれた、メロディーも出せる打楽器です。陽気で、心に響く音楽ですが、誕生の経緯は、独立前にイギリスに占領されていた当時、打楽器を禁止されていた中で、ドラム缶をもとに作られたものでした。

この事業の開催は3年ぶり、定員いっぱい20人の参加者は、コロナ対策をしながら大いに盛り上がりました。

出演は、PAN NOTE MAGIC (パンノートマジック) の皆さん。演奏の間に、スティールパンが生まれた背景を、寸劇でわかりやすく解説してくださり、音楽を通じてトリニダード・トバゴの歴史に触れることもできました。



Message from the Editors
編集室

「お久しぶり」「お元気でしたか」。フェスティバル会場ではこんな挨拶が飛び交っていました。常連さんも初参加の人もみんな笑顔、笑顔、笑顔。幼児からお年寄りまで皆さん楽しんでいたのが印象的でした。来年もこの会場で会いましょう。

At the international festival, everyone--regulars and first-timers alike--showed smiles, smiles, smiles. It was impressive how everyone from young children to the elderly enjoyed themselves. Let's meet again at this venue next year!